

経営比較分析表（令和6年度決算）

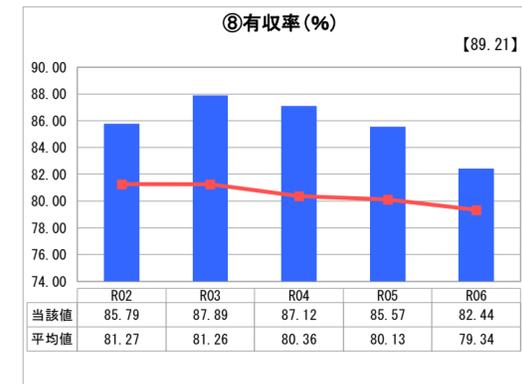
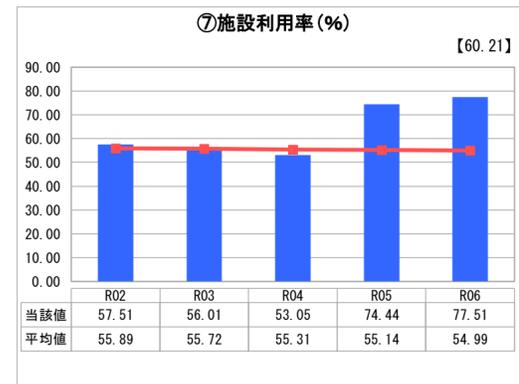
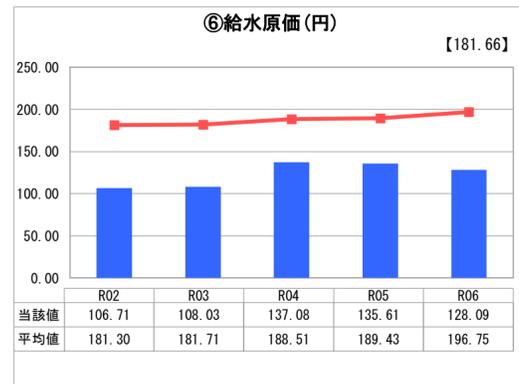
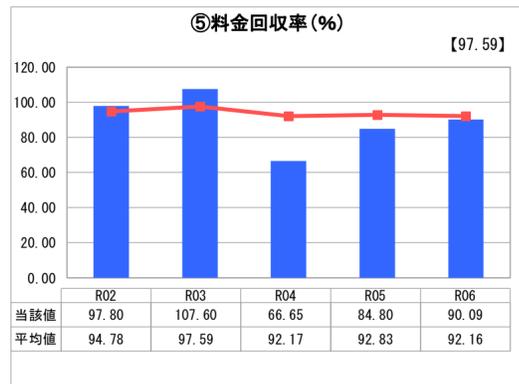
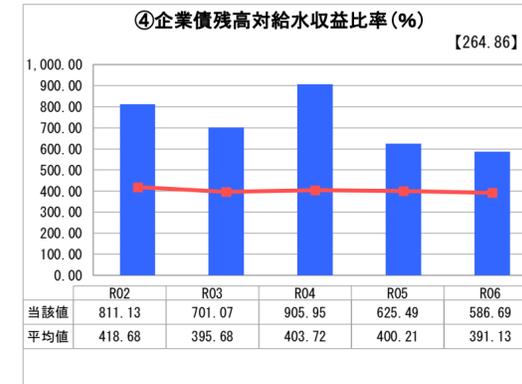
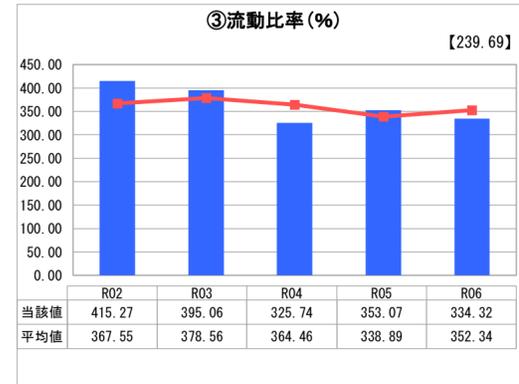
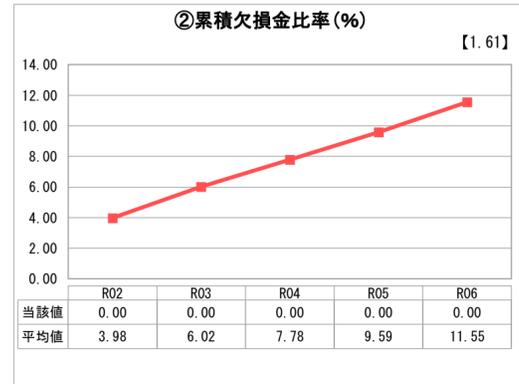
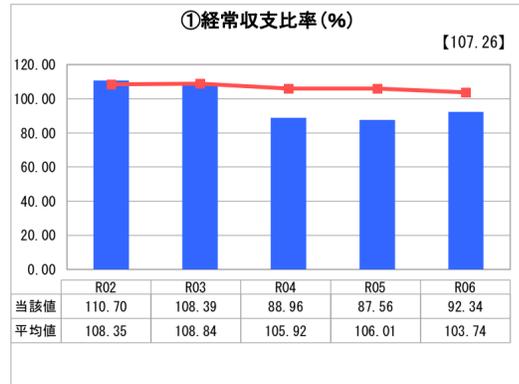
岐阜県 垂井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	63.90	100.00	2,170	

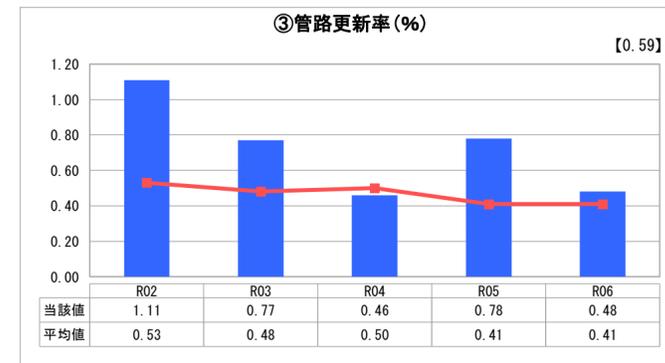
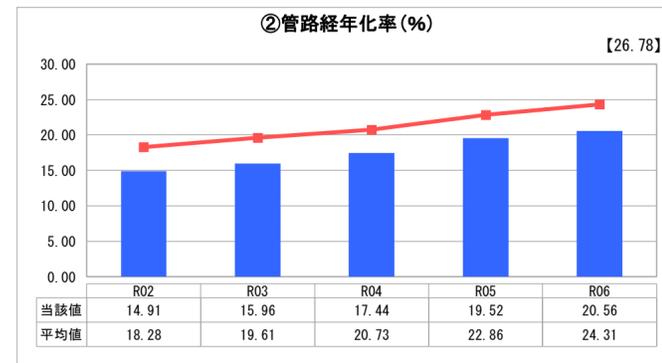
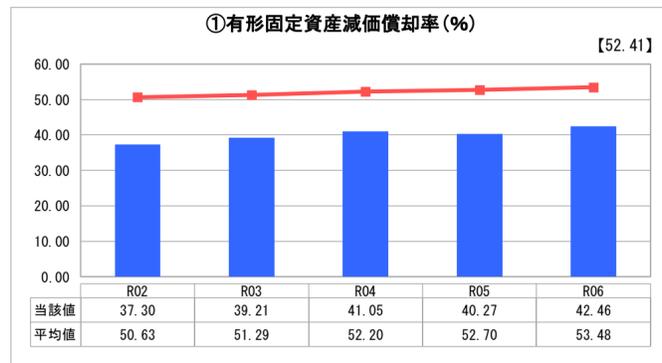
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,746	57.09	450.97
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
25,632	28.62	895.60

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・経営の健全性について
 経常収支比率は3年連続で100%を下回っており、赤字の状態が続いています。人口減少や節水器具の普及による給水収益の減少や物価高騰に伴う経常経費の増加が見込まれることから、今後も厳しい経営状態が続くものと考えます。
 料金回収率についても3年連続で100%を下回っており、薬品費や動力費の高騰により、給水に係る費用が料金収入で賄えていないことを示しています。

・経営の効率性について
 施設利用率は類似団体と比較しても高い水準にあり、効率的な施設運用ができていているといえます。有収率についても類似団体よりも高い水準にあります。年々減少傾向にあり、施設の稼働状況が収益に結びついていない状況となっています。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、管路経年化率は前年度同様類似団体平均値と比較して良好な状態ですが、数値は増加しているため、法定耐用年数を超えた老朽管等の資産が増加しています。
 また、管路更新率は前年度より約40%減少しており、管路の老朽化が進んでいる状況です。経年管は漏水する可能性に加えて、災害時においても管が破断する危険性があるため、今後も計画的かつ効率的に管路の更新を進めていく必要があります。

全体総括

経常収支比率は100%を下回っており、赤字の状態が続いています。今後も給水収益の減少、維持管理費の増加が見込まれることから、経営を維持していくため経費削減や適正な財源の確保に努めていく必要があります。
 また、施設や管路の老朽化が進んでいることが懸念されることから、財源確保のため料金改定を検討していく必要があると考えています。